令和６年度
総 合 型 選 抜
（工，物質理工，情報理工，生命理工，環境・社会理工学院）

学 生 募 集 要 項

出 願 期 間	令和５年１２月１８日（月）～ １２月２０日（水）
第１段階選抜 合格者発表日	令和６年　２月　５日（月）
第２段階選抜 個別学力検査 実　施　日	令和６年　２月１１日（日）
合格者発表日	令和６年　２月１３日（火）
入学手続日 （締切）	令和６年　２月１９日（月）

東京工業大学は東京医科歯科大学と令和６（2024）年度の秋に統合し，東京科学大学（仮称）となる予定です。
なお，統合日以前に入学した学生は，統合日前日までは現大学の学生ですが，統合日に全学生が新大学の学生になります。

東京工業大学
Tokyo Institute of Technology

目　　次

はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

・ 入学希望者へのメッセージ＜誰も見たことのない未来をつくりだせ＞
・＜学士課程＞入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）
・ 各学院が求める人材像
・ 東工大教育ポリシー
・ 女子枠設置に託した思い

Ⅰ　総合型選抜で求める学生像　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5

Ⅱ　募集人員・募集方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6

Ⅲ　出願資格　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7

Ⅳ　選抜における注意事項　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7

Ⅴ　障害等のある入学志願者の事前相談　・・・・・・・・・・・・・・・ 8

Ⅵ　出願手続　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9

Ⅶ　選抜方法　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１２

Ⅷ　合格者発表　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１５

Ⅸ　入学手続等　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１５

Ⅹ　感染症予防　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１６

ⅩⅠ　入試情報　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１６

ⅩⅡ　個人情報の取扱い・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１６

ⅩⅢ　学生生活　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１７

入学希望者へのメッセージ

誰も見たことのない未来をつくりだせ

世界はいまだ謎に満ち，課題にあふれています。生命はいかにして誕生したのか。人工知能は医療を，経済を，社会を，どう変えるのか。病に伏した人をどう癒すのか。宗教間の対立は止むことはなく，エネルギー問題も重くのしかかっています。一朝一夕には答えの見いだせないこうした謎や課題をめぐって，いまこの瞬間も，世界中の科学者や技術者，その他各分野の専門家たちが，その叡智をかけて議論しあっています。真理の探究と幸せの追求をかけた人類のあくなき挑戦。その壮大な歩みに，あなたは仲間入りしようとしています。

1881 年に創立されて以来，時代を切り拓くフロントランナーとして，理工系総合大学としての使命を担ってきた東京工業大学。目指すのは，科学技術の強い基盤を持ちながら，従来の“理系”の枠を超え出ること。なぜなら，どんなに高度で専門的な知識でも，ただそれを持っているだけでは，わくわくするような発見や発明に出会うことも，困難な問題を解決に導くことも，決してできないからです。だからこそ，本学の門を叩こうとするあなたには，以下のような心構えを持ってのぞんでほしい。“理系”の枠に安住しない人を，本学は求めています。

①高い志を持ってほしい

これからの時代，ただ引かれたレールに乗っかっていくだけ，ただ自分の専門に没頭するだけでは通用しません。あなたは将来，何を為したいのか。社会に，どんな貢献をしたいのか。高い志を持ち，それを育てる人であってほしい。その志にかたちを与えるのが科学技術です。東工大は，志をかたちにしようとする人を支えます。失敗をおそれず挑戦し，すすんで学ぶ人を歓迎します。

②多角的な視点を持ってほしい

常識や「空気」にとらわれた思考では，新しい発想は生まれません。自分の強みを持ちつつ，幅広い分野に興味を広げ，専門の異なる人や文化の異なる人とも協働できる柔軟な姿勢を持って，世界にはばたいてほしい。ものごとを多角的にとらえる視点からこそ，「そんな考え方もあったのか！」と人々を驚かせるアイディアは生まれます。人と人，知と知を結びつけようとする人を本学は求めます。

さあ，誰も見たことのない未来を，ともに作り出していきましょう。気概あるみずみずしい知性と出会えることを，期待しています。

〈学士課程〉入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

・求める人材像　科学技術への知的好奇心や探究心と社会に貢献したいという志を有し，その基本的概念や基礎知識とそれを活用できる力を身に付けた人材を求めます。

・求 め る 力

専門力	理数系分野に関する基本的概念や基礎知識
教養力	社会に関する基礎的知識と語学力
コミュニケーション力	自らの考えを具体的に表現できる力
展開力	論理的に思考して自らの知識を活用できる力

各学院が求める人材像

【理学院】
理学院学士課程では，幅広い教育と自由な発想に基づいた研究を通じて，社会や文化の発展に広く貢献することを目指しています。そのために次のような学生を求めます。
・自然界の仕組みについて深く知りたいという強い好奇心を持つ人
・教わるだけでなく，自ら主体的に学ぶことができる人
・自分の意見を持ち，他者と議論することができる人
・十分な学力と表現力を持つ人

【工学院】
工学院学士課程では，人の生活を豊かで快適なものとするための工学的知識・技術を習得し，さらにそれらを進化させるための研究活動の基本を身につけます。そのために，次のような人材を求めます。
・工学的知識・技術を活かして人類と社会の発展に貢献しようという高い志を有する人
・自らの能力向上のために積極的に学ぶ意欲をもつ人
・工学を学ぶために，理数系科目を中心とする確実な基礎学力を身につけた人
・論理的思考力を有し，他者と意思疎通できる基本的なコミュニケーション力を備えた人

【物質理工学院】
物質理工学院学士課程では，材料科学及び応用化学に関する確かな基礎学力と明快な論理的思考力を持ち，環境調和型社会の発展に貢献できる人材を養成します。そこで，次のような学生を求めます。
・自然科学の幅広い分野について基礎学力を有し，柔軟な発想ができる人
・材料や応用化学に関係する諸現象について積極的に学習する意欲がある人

【情報理工学院】
情報理工学院学士課程では，よりよい情報化社会を築くために必要となる情報理工学に関する幅広い知識と柔軟で広い視野を持った人材の育成を目指します。そのために，次のような資質と能力を持つ人材を求めます。
・数学や理科に関する十分な基礎学力を有する人
・数理科学に興味を持ち，コンピュータの仕組みや活用法に興味を持つ人
・情報理工学の知見を活かし情報化社会の発展に貢献したいという志を有する人

【生命理工学院】
生命理工学院学士課程では，理工系の基礎知識と生命理工学分野の基礎的専門知識を修得し，生命理工学に関連した科学・技術の発展に資する課題解決力と倫理観を養います。そこで，本学院では次のような人材を求めます。
・自然科学の基本的な概念や考え方を身に付け，応用できる力を有している人
・論理的に思考し，集中してものごとに取り組むことができる人
・生命理工学の専門教育で必要となる基礎的な語学力を有している人
・生命現象を探究し，科学・技術の発展に貢献する意欲を有している人

【環境・社会理工学院】
環境・社会理工学院学士課程では，人類と社会の持続的発展に貢献するために理工学的叡智に加えて人文社会科学的叡智を広く環境や社会に応用・展開して卓越した学術・技術を創生するとともに，高い知性と豊かな教養，国際的な広い視野と深い思考能力を備え，科学・技術の専門家として社会で活躍できる人材を養成する。そこで，本学院では特に次の能力と適性を持つ人材を求めます。
・理数系分野に関する基本的概念や確実な基礎知識を持つ人
・学士課程の専門力を身につけるため必要となる基礎的な語学力を持つ人
・自らの能力向上のため主体的に理工学分野ならびに人文社会科学分野について学ぶ意欲を持つ人
・人類と社会の持続的発展に貢献しようという高い志を持つ人

東工大教育ポリシー

本学では，以下に記載している「教育目標」と「養成する人材像」を掲げるとともに，全学及び各系で「卒業認定・学位授与の方針（ディグリー･ポリシー)」,「教育課程編成・実施の方針（カリキュラム･ポリシー)」,「入学者受入れの方針（アドミッション･ポリシー)」を定め，教育ポリシーとして位置づけています。

・教 育 目 標

知的好奇心に端を発した学術研究は新たな技術と産業を生み，不可能を次々と可能にし，現代社会を築いてきました。
現在も，真理の探究と知の継承及び発展に加えて，持続可能な社会に導く革新的科学技術の創出が求められ，世界最高水準の研究とともに教育に対する期待がますます高まっています。
それに応えるべく，本学では，

・確かな専門力
・豊かな教養力
・柔軟なコミュニケーション力
・以上の修得した知識や技能等を統合し活用できる多様な展開力

を身に付け，「挑戦し続けるフロントランナー」として困難に立ち向かう気概と倫理観をもって，より良い社会を築くことができる人材を養成します。
そのために，世界最高水準の研究の中に学生を招き入れ，学生が自ら学び考える教育を実施します。

・養成する人材像

確かな専門力，豊かな教養力，柔軟なコミュニケーション力，多様な展開力を身に付け，科学技術を基盤としてより良い社会を築くことができる，「挑戦し続けるフロントランナー」を養成します。

≪学士課程≫　「科学技術を基盤として自ら学び考えることができる人材」
学士課程では，基盤的な専門力，並びに，幅広い教養，そして，論理的に表現できる力を身に付け，倫理観と未知の世界に挑戦する意志をもって，自ら学び考えて物事に取り組むことができる人材を養成します。

女子枠設置に託した思い

本学は，さまざまな背景や価値観，属性をもった受験生を広く受け入れ，多様性のもつ力を生かして，これまでなかった「もの」や「こと」を生み出し，社会に新しい価値や夢を提供するとともに，さまざまな社会や分野でありたい未来の実現に向けて活躍できる理工系人材を輩出することを目指しています。この目標に向けて，誰もが隔てなく，学び，働ける場を創造し，知的活力にあふれた環境のもと，本学の目的及び使命である文化の進展及び人類の福祉への貢献を目指し，ダイバーシティ&インクルージョン※1を強力に推進することを宣言しています。

日本は今後，高齢社会，地球温暖化，環境問題等による社会の急速な変容や，多くの課題に直面すると予想されます。その時代には科学技術の重要性が，現在よりも一層高まることは明白です。これらの課題を解決し，日本社会，さらには世界が持続的に発展し続けるためには，今まで以上に多様な視点をもった広い分野の専門家がその力を結集すること，すなわち，ダイバーシティ&インクルージョンが必要不可欠です。

本学は，ダイバーシティ&インクルージョンを進める取り組みとして，多様な学生が安心して学生生活を送れるように，地方出身者向け，ファーストジェネレーション※2向け，女子学生向けなどの各種奨学金制度の創設や，日本人学生と外国人学生の混住型寮・女子寮の開設など，環境整備を進めています。

さらに，女子学生の比率が長年にわたり低い状態が続いている現状を打破するために，ダイバーシティ&インクルージョンの新たな取り組みとして入試改革に着手し，令和６年度から総合型選抜及び学校推薦型選抜に女子枠を導入することを決断しました。この選抜では，基本的な学力の評価に加えて，各学院が多様な視点から，受験生の個性を尊重し，その潜在力を発掘することに主眼を置いた選抜を行います。入学後は一定規模の女子学生がいる環境のなかでジェンダー※3等のさまざまな違いを超えて，それぞれが十分に能力を伸ばせる学びの場を提供することで，多様な人材の育成を目指します。この施策は，本学の学生が，性別にかかわらず自分らしく学生生活を送れるようになるまで継続します。

この女子枠の創設により，本学の学修環境を理想的なものに近づけるとともに，より多くの女性科学者・技術者を社会のさまざまな分野に輩出するという使命に応えていきます。これを起点に波紋が広がり，本学だけでなく社会全体に，真に多様性を推進する環境が育つことを期待します。

受験生のみなさん，本学が強みとする世界でも最高峰の教育・研究環境の中で，多様な文化や知性をもつ教員・学生と一緒に自分の可能性をとことん追求しませんか。そして，若い英知を結集して，みなさんの手で，ありたい未来社会を描いてみませんか。

※１：ダイバーシティ&インクルージョン：個々人が持つ外的（性別，人種，年齢等），内的（ライフスタイル，価値観等）な違いにかかわらず，それぞれの個を尊重し，多様性を認め合い，良いところを受け入れて生かすこと

※２：ファーストジェネレーション：家族の中で初めて大学に進学する世代のこと。本学では，大隅良典記念奨学金に親が４年制の大学を卒業していない方を対象とした枠を設けている

※３：ジェンダー：生物的性差に基づき定められた社会的・文化的性差

Ⅰ．総合型選抜で求める学生像

１．工学院

機械系，システム制御系，電気電子系，情報通信系，経営工学系の学問分野に強い興味を抱き，人類と社会の持続的発展に貢献しようという高い志と理系科目を中心に十分な基礎学力を有する者。とりわけ総合型選抜では，柔軟な発想力と，その発想を他者と共有するための説明力および他者の発想を理解できる能力に秀でた素質が認められる者を強く求めます。

２．物質理工学院

化学と物理を基盤として，自然科学の幅広い分野について基礎学力を有し，柔軟な発想ができる者，また，物質分野，すなわち材料や応用化学に関係する諸現象について積極的に学習する意欲があり，環境調和型社会の発展に貢献しようという強い志をもつ者。とりわけ総合型選抜では，これらの資質や能力に秀で，自分の考えをしっかりと他者に説明できる人を求めます。

３．情報理工学院

次のような資質と能力を持つ人を求めます。数学や理科に関する十分な基礎学力を有する人，数理科学に強い興味を持つ人，コンピュータの仕組みや活用法に興味を持つ人，情報化社会の発展に貢献したいという志を有する人。とりわけ総合型選抜ではこれらの資質や能力のいずれかに秀で，自発的に活動できる人を強く求めます。

４．生命理工学院

生命現象を徹底的に探求したいという旺盛な知識欲を持つ者，また，得られた知識を応用して新しい創造的世界を開拓したいという意欲にあふれる者など，チャレンジングな理工系精神を持って生命理工学を学びたい者。とりわけ総合型選抜では，生物学に秀でた素質が認められる者を求めます。

５．環境・社会理工学院

人類と社会の持続的発展に環境と生活・産業基盤の観点から貢献しようという高い志を有し，理系科目を中心に確実な基礎学力を備えた者。とりわけ総合型選抜では，環境や社会にかかわる多様で複雑な問題の解決に対する柔軟な発想力と，その発想を他者と共有するための表現力の２点に秀でた素質が認められる者を強く求めます。

Ⅱ．募集人員・募集方法

１．募集人員

<table>
<tr><th rowspan="2">学院</th><th rowspan="2" colspan="2">系 ※１</th><th colspan="2">募集人員 ※2</th></tr>
<tr><th>一般枠 ※3</th><th>女子枠 ※4</th></tr>
<tr><td rowspan="5">工学院</td><td colspan="2">機械系</td><td rowspan="5">34 人</td><td rowspan="5"></td></tr>
<tr><td colspan="2">システム制御系</td></tr>
<tr><td colspan="2">電気電子系</td></tr>
<tr><td colspan="2">情報通信系</td></tr>
<tr><td colspan="2">経営工学系</td></tr>
<tr><td rowspan="2">物質理工学院</td><td colspan="2">材料系</td><td rowspan="2">20 人</td><td rowspan="2">20 人</td></tr>
<tr><td colspan="2">応用化学系</td></tr>
<tr><td rowspan="2">情報理工学院</td><td colspan="2">数理・計算科学系</td><td rowspan="2">6 人</td><td rowspan="2">14 人</td></tr>
<tr><td colspan="2">情報工学系</td></tr>
<tr><td>生命理工学院</td><td colspan="2">生命理工学系</td><td>15 人</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="3">環境・社会理工学院</td><td>A</td><td>建築学系</td><td>8 人</td><td>3 人</td></tr>
<tr><td>B</td><td>土木・環境工学系</td><td>6 人</td><td>3 人</td></tr>
<tr><td>C</td><td>融合理工学系</td><td>6 人</td><td>3 人</td></tr>
<tr><td colspan="3">全学合計</td><td>95 人</td><td>43 人</td></tr>
</table>

※１「系」欄は２年目以降で所属可能な系を示しています。
※２ 選考の結果，期待する水準に達した者が少なく，合格者数が募集人員に満たない場合は，その欠員は一般選抜（前期日程）の募集人員に加えます。
※３ 性別によらずに出願できる入試区分を「一般枠」と称します。
※４ 戸籍上の性別が「女性」である者が出願できる入試区分を「女子枠」と称します。

２．募集方法

（１）全ての志願者は，希望する１つの学院のみに出願可能です。なお，環境・社会理工学院の志願者は，希望する系を選択のうえ，出願してください。学士課程２年目の系所属の際にＡを受験し合格した者は建築学系に，Ｂを受験し合格した者は土木・環境工学系に，Ｃを受験し合格した者は融合理工学系に，それぞれ所属することとなります。
（２）女性の志願者は，一般枠と女子枠の併願が可能です（工学院及び生命理工学院を除く）。
インターネット出願登録時に「一般枠のみ志願」，「女子枠のみ志願」，「一般枠と女子枠の併願」のいずれか一つを選択して入力してください。
（３）合格した場合には，入学することを確約してください。

Ⅲ．出願資格

次の各号のいずれかに該当する者とします。ただし，女子枠への出願についてはこれに加え，戸籍上の性別が「女性」であることを出願資格とします。

１．高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和６年３月卒業見込みの者

２．通常の課程による１２年の学校教育を修了した者及び令和６年３月修了見込みの者

３．学校教育法施行規則第１５０条の規定により，高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和６年３月３１日までにこれに該当する見込みの者

（１）外国において，学校教育における１２年の課程を修了した者及び令和６年３月３１日までに修了見込みの者又はこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定した者

（２）文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程(又は相当する課程)を有するものとして認定（又は指定）した在外教育施設の当該課程を修了した者及び令和６年３月３１日までに修了見込みの者

（３）専修学校の高等課程（修業年限が３年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が別に定める日以後に修了した者及び令和６年３月３１日までに修了見込みの者

（４）文部科学大臣の指定した者（昭和２３年文部省告示第４７号）

（５）高等学校卒業程度認定試験規則（平成１７年文部科学省令第１号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧大学入学資格検定に合格した者を含む。）及び令和６年３月３１日までに合格見込みの者で，令和６年３月３１日までに１８歳に達する者

（６）本学において，個別の出願資格審査により，高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で，令和６年３月３１日までに１８歳に達する者

［注］ 上記３の（６）により出願しようとする者は，下記期間に出願資格審査を行うため，入試課にメール（巻末参照）したうえで，必要書類をそろえて申請してください。

申請書類等の詳細については，本学「高校生・受験生向けサイト」（巻末参照）にて確認してください。

【出願資格審査申請期間】

令和５年１１月１日（水）～１１月１０日（金）

Ⅳ．選抜における注意事項

１．入学辞退

総合型選抜の合格者の入学辞退は認められません。ただし，特別な事情により本学に入学することができなくなった場合においてのみ，「総合型選抜入学辞退届」（様式任意，受験番号，氏名，具体的な辞退事由を必ず記載）を本学入試課に提出してください。

提出期限は，書留・速達で令和６年２月１６日（金）必着とします。なお，やむを得ず期限までの提出が難しい場合は令和６年２月１９日（月）１２：００までに，メールにてその旨を連絡してください。

受理された者は，本学又は他の国公立大学等の一般選抜を受験することが認められます。

２．総合型選抜出願者の一般選抜への出願

本学の総合型選抜出願者は，本学又は他の国公立大学等の一般選抜に出願することができます。ただし，本学総合型選抜に合格した場合，本学の一般選抜を受験することはできません。

その場合は，一般選抜の検定料のうち１３，０００円を返還しますので，一般選抜のインターネット出願サイトの「申込確認」よりマイページにログインし，返還手続きをしてください。

また，本学総合型選抜に合格した場合，他の国公立大学の一般選抜を受験しても合格者の対象とはならないので注意してください。（上記，**１．入学辞退**により辞退届を受理された者を除きます。）

３．その他の注意事項

・本学の総合型選抜と本学の学校推薦型選抜の併願はできません。

・実施方法等について変更がある場合は，「高校生・受験生向けサイト」で公表します。

Ⅴ．障害等のある入学志願者の事前相談

本学では，障害等（下表参照）のある者が，受験上及び修学上不利になることがないよう，合理的な配慮を行っており，そのための相談を常時受け付けています。

受験上の配慮については，内容によって対応に時間を要することがあります。必ず事前に入試課にメールで連絡し，申請書類を請求してください。

原則として次の期日までに，申請書類を提出していただく必要があります。

①「点字回答」又は「代筆回答」を希望する場合　：令和５年１１月２４日（金）
②上記①以外の配慮を希望する場合　：令和５年１２月１５日（金）

なお，申請書類提出期限後の申請については，引き続き配慮検討の対象となりますが，事前の配慮準備の関係で，申請が遅くなるほど，実際に提供できる受験上の配慮が限定されていきます。

なるべく早めに申請書類を提出してください。申請のあったものについて，本学でその内容を審査の上，それぞれの障害の種類・程度に応じた受験上の配慮を決定し通知します。

また，必要な場合は，本学において志願者又は出身学校関係者等との面談を行うこともあります。

区　分	対象となる者
視覚障害	・点字による教育を受けている者 ・良い方の眼の矯正視力が 0.15 以下の者 ・両眼による視野について強度視野障害のある者 ・上記以外の視覚障害者
聴覚障害	・両耳の平均聴力レベルが 60 デシベル以上の者 ・上記以外の聴覚障害者
肢体不自由	・体幹の機能障害により座位を保つことができない者又は困難な者 ・両上肢の機能障害が著しい者 ・上記以外の肢体不自由者
病弱	・呼吸器，心臓，腎臓，消化器等の慢性疾患のため，医療や生活規制を継続して必要とする状態にある者又はこれに準ずる者
発達障害	・自閉症，アスペルガー症候群，広汎性発達障害，学習障害，注意欠陥多動性障害等のため配慮を必要とする者
その他	・上記の区分以外の者で受験上の配慮を必要とする者

［注１］日常生活において，ごく普通に使用している補聴器，松葉杖，車椅子等を持参して受験する場合も，試験場準備等との関係から受験上の配慮として申請が必要です。

［注２］申請書類提出期限後に不慮の事故等（交通事故，部活動中の事故，発病等）のため受験上の配慮を希望する者は，なるべく早めに申請書類を提出してください。なお，申請が試験の直前である等，申請内容への対応が直ちにできないような場合には，希望する受験上の配慮が行えないこともあるので，十分に注意してください。

Ⅵ. 出願手続

１．出願期間※

令和５年１２月１８日（月）～１２月２０日（水）（１２月２０日　出願書類等必着 ）

２．出願方法

出願完了には，下記①～⑤のすべての手続が必要です。インターネット出願登録期間及び入学検定料納入期間中に，インターネット出願の登録と入学検定料の納入を済ませ，なおかつ出願書類受理期間中に出願書類が本学に到着していなければなりません。

なお，インターネット出願サイトでの登録は，令和５年１２月１５日（金）午前９時から可能です。

①インターネットによる出願情報の登録

本学「高校生・受験生向けサイト」からインターネット出願サイトにアクセスし，画面の指示に従って出願情報を登録してください。

②顔写真データのアップロード

③入学検定料（１７，０００円）の支払い

入学検定料の他に，サービス利用料として別途７００円が必要です。また，成績開示を希望する場合は，成績開示手数料５００円が必要です。

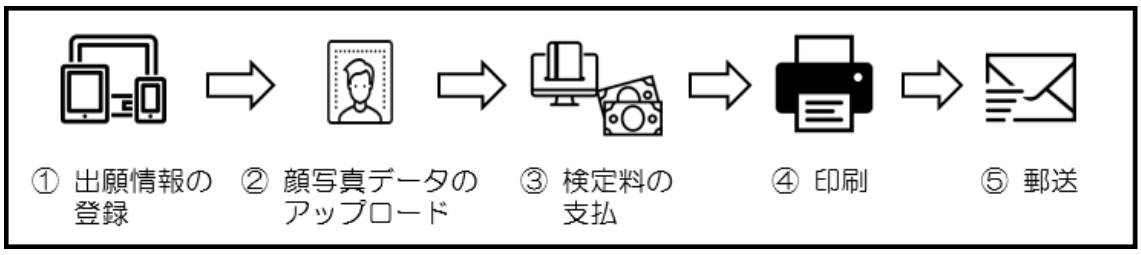
支払い方法の詳細については，インターネット出願サイトを参照してください。

④出願書類等の印刷

⑤出願書類等の郵送

「**書留・速達**」で郵送してください。本学へ持参しての出願は認めません。なお，出願書類の到着有無に関する問い合わせには一切応じません。各自，書留の受領証に記載されている引受番号を用いて，郵便追跡システムで確認してください。

※インターネット出願で登録を済ませ，検定料等の支払いを完了しても，出願書類一式が出願期間内に本学へ到着しない場合は，出願は受理されません。



３．出願書類等

（1）インターネット出願サイトから印刷するもの

入学志願票	出願登録後，申込確認ページよりＡ４サイズでカラー印刷し，提出してください。 入学志願票は，入学検定料等の支払い及び顔写真のアップロードが完了しないと印刷できません。
宛名ラベル	出願登録後，申込確認ページよりＡ４サイズでカラー印刷したものを郵送用の封筒に貼り付けてください。封筒は，市販の角形２号封筒（240㎜×332㎜）を使用し，「**書留・速達**」で郵送してください。なお，２枚目のチェックリストを同封して送付する必要はありません。

（2）インターネット出願サイトでアップロード作業が必要なもの

顔写真データ	出願登録後，登録完了メールに記載されている URL から，志願者本人の顔写真データをアップロードしてください。 志願者本人であることを判別できるもので，カラー・上半身・脱帽・正面向き・無背景・出願前３ヶ月以内に撮影した 100KB～５MB の JPG 又は PNG 形式のデータを使用してください。

（３）その他必要書類（全学院共通）

大学入学共通テスト成績請求票	大学入試センターから交付された<u>令和６共通テスト成績請求票</u>のうち， 『 **総合** **国公立総合型選抜用**』を（１）入学志願票の所定欄に貼ってください。
調査書	**①Ⅲ出願資格１，２及び３の(2)によって出願する者** ・「令和６年度大学入学者選抜実施要項」（文部科学省通知）に基づき，出身学校長が所定の様式により作成したもので，必ず厳封したものを提出してください。 **②高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧大学入学資格検定合格者を含む。以下同じ。）** ・合格した科目が記載された合格成績証明書を提出してください。 なお，高等学校卒業程度認定試験に合格した者及び合格見込みの者のうち，資格検定の受験科目の一部について高等学校等において科目を履修したことにより，検定を一部免除された者は，免除科目の高等学校等の単位修得（見込）証明書又は成績証明書（学校長が作成し，厳封されたもの）を併せて提出してください。 **③①及び②以外の者** ・出願資格を有することの証明書及び成績証明書を提出してください。 （共通テスト受験案内の出願資格と証明書類に関するページを参照し，原本を提出してください。） **④指導要録の保存期間経過又は廃校，被災その他の事情により調査書が得られない者** ・卒業証明書に加えて成績証明書又は単位修得証明書等を提出してください。 なお，上記理由により調査書，成績証明書及び単位修得証明書等の提出ができない場合は，卒業証明書に加えて学校長からの当該文書が「発行できない旨の文書」を提出してください。 **⑤出願資格審査により認定された者** ・「出願資格審査の結果について（通知）」のコピーを提出してください。

（４）その他必要書類（全学院提出）

	学院	一般枠	女子枠
志望理由書	工	志望理由を８００字以内で記述してください。	
	物質理工	志望理由を８００字以内で記述してください。 環境調和型社会の発展に貢献するために東工大で学びたいこと，自身の将来像，これまでの学習・活動・研究の実績などの自らのアピールを含めてください。	一般枠と同一
	情報理工	志望理由を８００字以内で記述してください。	一般枠と同一
	生命理工	志望理由を８００字以内で記述してください。 学習・活動・研究の実績など，自らのアピールを含めてください。 例：生物が好きで取り組んだ学習や活動。授業や課外での取り組みや活動（生物に限定しない。）。その他，困難を乗り越えてやり抜いたこと。	
	環境･社会	志望理由を８００字以内で記述してください。	一般枠と同一

（５）その他必要書類（対象学院のみ提出）

	学院	一般枠	女子枠
活動実績報告書	工	提出不要	
	物質理工	提出不要	提出不要
	情報理工	志願者の活動や研究を志願者本人が記載してください。	一般枠と同一
	生命理工	提出不要	
	環境･社会	提出不要	これまで授業や課外で取り組んだ活動及びそれらの活動を通して養われた能力・考え方のうち，環境や社会とのかかわりでアピールできるものをまとめたものを提出してください。

（６）出願時の注意事項

・志望理由書及び活動実績報告書の様式は，本学「高校生・受験生向けサイト」の以下のウェブページより，該当する書式をダウンロードして作成してください。
〔総合型選抜〕https://admissions.titech.ac.jp/admissions/admission/admission/ao

・出願後の提出書類の内容変更は認めません。また，印字後は修正できませんので，誤りが無いように，十分注意し入力してください。特に，**氏名**，**生年月日**，**メールアドレス**を誤って入力した場合，マイページにログインできなくなり，最初から入力し直しになる場合がありますので，注意してください。

・出願書類等について，虚偽の申請，不正等の事実が判明した場合，合格等を取り消すことがあります。

・出願書類は，いかなる理由があっても返還しません。

（７）入学検定料

【基本事項】

・入学検定料１７，０００円及びサービス利用料７００円を支払いください。支払い方法の詳細については，インターネット出願サイトを参照してください。

・成績開示を希望する場合は，成績開示手数料５００円を併せて支払いください。

・入学志願票は，入学検定料等の支払い及び顔写真のアップロードが完了しないと印刷できません。

・入学検定料は，コンビニエンスストア，銀行ＡＴＭ（Pay-easy での支払），クレジットカード（VISA, MasterCard, JCB, AMERICANEXPRESS, Diners Club）及びネットバンキングのいずれかの支払い方法を利用できます。

【注意事項】

・銀行窓口での支払いはできません。

・コンビニエンスストアに設置されている銀行ＡＴＭでの支払いはできません。

・クレジットカード及びネットバンキングの名義は，志願者と同一である必要はありません。
（保護者名義でも支払いが可能です。）

・一度納入した入学検定料は，出願書類受理後は，いかなる理由があっても返還しません。
ただし，第１段階選抜の不合格者には，１３，０００円を返還します。

・不合格となった者は，２月５日(月)１８時１５頃から，インターネット出願登録サイトのマイページで入学検定料返還の案内を確認できるようになります。入学検定料返還を希望される方は，案内に従って３月３１日（日）までに返還申請をしてください。

・個別学力検査を受験できなかったことに伴う，成績開示手数料の返還は行いません。

【検定料免除】

・入学を希望する者又は主たる家計支持者が居住する地域の自然災害によりり災し，災害救助法（昭和 22 年法律第 118 号）の適用を入学願書の提出時に受けており，検定料の納付が著しく困難であると認められる場合には，入学検定料を免除することがあります。

・下記のような場合に免除となりますが，詳しくは出願期間前に入試課まで問い合わせてください。
①主たる家計支持者が所有する自宅家屋が全壊，大規模半壊，半壊，流出した場合。
②主たる家計支持者が死亡又は行方不明の場合。

Ⅶ．選抜方法

・入学者の選抜は，学力検査（共通テストと本学が実施する個別学力検査），志望理由書，調査書及び各学院が指定する提出書類によって行います。
・選抜は，第１段階選抜と第２段階選抜により行います。
・一般枠と女子枠を併願する場合，各枠で判定した結果，両方合格であれば女子枠としての合格とします。

１．共通テストの受験を要する教科・科目

・志願者は，以下に示す本学が指定する教科・科目を全て受験してください。
・なお，指定された教科・科目を１つでも受験しない場合は，本学を受験することはできません。

教　　科	科　　目
国　語	「国語」
地理歴史，公　民※	「世界史Ｂ」，「日本史Ｂ」，「地理Ｂ」，「現代社会」，「倫理，政治・経済」から１科目
数　学	「数学Ⅰ・数学Ａ」，「数学Ⅱ・数学Ｂ」の２科目
理　科	「物理」，「化学」，「生物」，「地学」から２科目
外 国 語	「英語(リスニングを含む)」，「ドイツ語」，「フランス語」，「中国語」，「韓国語」から１科目

※「地理歴史，公民」において，指定した科目数を超えて受験した場合は第１解答科目の得点を用います。ただし第１解答科目が本学が指定した科目でない場合には，本学を受験することができません。（この場合の第１解答科目とは，「地理歴史，公民」の試験時間に２科目を受験した場合において，前半の 60 分間で解答した科目のことをいいます。）

２．第１段階選抜

（１）各学院の第１段階選抜

学　　院		一般枠	女子枠
工		志願者数が学院の募集人員の約２～３倍を超えた場合，本学が指定する共通テストの成績（得点合計）により第１段階選抜を行う。	
物質理工		志願者数が学院の一般枠の募集人員の約 1.5 倍を超えた場合，本学が指定する共通テストの成績（得点合計）により第１段階選抜を行う。	志願者数が学院の女子枠の募集人員の約 1.5 倍を超えた場合，本学が指定する共通テストの成績（得点合計）により第１段階選抜を行う。
情報理工		本学が指定する共通テストの成績（得点合計）と出願書類を用いて第１段階選抜を行う。 第１段階選抜の判定では活動実績報告書の内容を重視する。共通テストの成績は基礎学力の判定のためのみに用い，概ね 720 点以上かどうかを基準とする。募集人員の約 2 倍を第１段階選抜合格者の上限とする。	本学が指定する共通テストの成績（得点合計）と出願書類を用いて第１段階選抜を行う。第１段階選抜の判定では活動実績報告書の内容を重視する。共通テストの成績は基礎学力の判定のためのみに用い，概ね 720 点以上かどうかを基準とする。募集人員の約 1.5 倍を第１段階選抜合格者の上限とする。
生命理工		志願者数が学院の一般枠の募集人員の約２倍を超えた場合，本学が指定する共通テストの成績（得点合計）と出願書類を用いて第１段階選抜を行う。	
環境・社会理工	A	共通テストの成績（得点合計）に基づき第１段階選抜を行い，募集人員の約２倍を第１段階選抜合格者の上限とする。	本学が指定する共通テストの成績（得点合計）と出願書類に基づき第１段階選抜を行い，Ａ，Ｂ，Ｃいずれも募集人員の約２倍を第１段階選抜合格者の上限とする。
	B		
	C	共通テストの成績（得点合計）と出願書類に基づき第１段階選抜を行い，募集人員の約２倍を第１段階選抜合格者の上限とする。	

（２）共通テストの各教科の配点（第１段階選抜時）

	一般枠						女子枠					
	国語	地歴，公民	数学	理科	外国語	合計	国語	地歴，公民	数学	理科	外国語	合計
工	200	100	200	200	200※1	900						
物質理工	200	100	200	200	200※1	900	200	100	200	300※2	300※3	1100
情報理工	200	100	200	200	200※1	900	一般枠と同じ					
生命理工	200	100	200	200	200※1	900						
環境・社会理工	200	100	200	200	200※1	900	一般枠と同じ					

※１：外国語科目として「英語」を選択した場合，200 点の内訳はリーディング 100 点，リスニング 100 点とします。なお，「英語」を選択し，リスニングを免除された者は，リーディングの配点 100 点を 200 点に換算した得点とします。
※２：理科科目 300 点の内訳は選択した２科目のそれぞれを 150 点とします。
※３：外国語科目として「英語」を選択した場合，300 点の内訳はリーディング 150 点，リスニング 150 点とします。なお，「英語」を選択し，リスニングを免除された者は，リーディングの配点 150 点を 300 点に換算した得点とします。

（３）第１段階選抜合格者発表及び受験票確認

・令和６年２月５日（月）１８：１５頃　インターネット出願サイトより，合格者は，受験票の閲覧及び印刷が可能となります。（不合格者は，「入学検定料返還の案内」の閲覧及び印刷が可能となります。）
・申込確認画面からログインし，マイページよりＡ４サイズで受験票を印刷してください。試験当日は，印刷した受験票の必要部分（左上）を切り取り，必ず持参してください。
・なお，第１段階選抜を実施しなかった場合は，本学「高校生・受験生向けサイト」にその旨を掲載します。
・また，試験室等の詳細や注意事項について，「受験案内」を，１８：１５頃に本学「高校生・受験生向けサイト」に掲載しますので，当該案内に従い，第２段階選抜（総合問題）を受験してください。

３．第２段階選抜

・第１段階選抜合格者に対し，令和６年２月１１日（日）に本学大岡山キャンパスにて個別学力検査（総合問題）を実施し，個別学力検査（総合問題）と，共通テストの得点（物質理工学院（一般枠・女子枠），生命理工学院（一般枠）），及び調査書等の提出書類を総合的に評価し，合格者を決定します。

（１）試験時間及び配点

学院		総合問題	試験時間	一般枠配点			女子枠配点		
				総合問題	共通テスト	合計	総合問題	共通テスト	合計
工		筆記 面接	9:30～11:30 13:30～16:30	100	－	100			
物質理工		面接	9:30～18:00	90	90	180	110	110	220
情報理工		面接	9:30～18:00	100	－	100	100	－	100
生命理工		筆記 面接	9:30～11:00 13:30～18:00	100	50	150			
環境・社会理工	A	造形課題	9:30～11:30	100	－	100	100	－	100
	B	筆記 面接	9:30～11:00 13:00～16:30						
	C	面接	9:30～13:00						

（２）共通テストの各教科の換算（第２段階選抜時）

	一般枠						女子枠					
	国語	地歴，公民	数学	理科	外国語	合計	国語	地歴，公民	数学	理科	外国語	合計
工	利用しない											
物質理工	20	10	20	20	20	90	20	10	20	30	30	110
情報理工	利用しない						利用しない					
生命理工	0	0	20	20	10	50						
環境･社会理工	利用しない						利用しない					

（３）総合問題の試験内容

学 院	総合問題		一般枠	女子枠
工	筆記		数学や物理に関連した工学の基礎となる課題の設問により，論理的な思考力，解決力及び記述力を評価する。	
	面接		工学分野に対する志望動機，与えられた物理や数学のテーマに関して論理的かつ明快に説明する能力を評価する。	
物質理工	筆記		実施しない	実施しない
	面接		科学的な知識及び考え方について試問し，考察力，表現力とともに物質についての科学技術を学ぶうえでの適性を評価する。	科学的な知識及び考え方について試問し，考察力，表現力とともに物質についての科学技術を学ぶうえでの適性を評価する。また，女性が活躍できる環境調和型社会に貢献するために本学物質理工学院で学びたいこと，及び自身の将来像をふまえた志望動機を論理的かつ明快に説明する能力を評価する。
情報理工	筆記		実施しない	実施しない
	面接		志願者の活動実績報告書に関する発表や質疑応答等に基づき，情報に対する適性・素養・説明能力を評価する。	志願者の活動実績報告書に関する発表や質疑応答等に基づき，情報に対する適性・素養・説明能力を評価する。また，ダイバーシティ社会で躍進するために本学情報理工学院で学びたいこと，及び自身の将来像をふまえた志望動機を論理的かつ明快に説明する能力を評価する。
生命理工	筆記		生物に関する設問により，基礎学力，論理的な思考力及び記述力を評価する。	
	面接		生命理工学分野に対する志望動機，学習意欲，論理的な思考力及び適性を評価する。	
環境・社会理工	A	造形課題	「数学Ⅲ」程度までの数学を応用した建築に関連する形態の造形，スケッチ及び説明文を解答させ，建築・都市空間のデザイン及び表現能力を評価する。	「数学Ⅲ」程度までの数学を応用した建築に関連する形態の造形，スケッチ及び説明文を解答させ，建築・都市空間のデザイン及び表現能力を評価する。また，活動実績報告書の記載内容について評価する。
	B	面接（筆記を含む）	国内外の社会や環境に関わる公共的な課題に対して，問題の所在を整理し，解決できる素養並びにその表現の能力を評価する。	国内外の社会や環境に関わる公共的な課題に対して問題の所在を整理し，解決できる素養並びにその表現の能力を評価する。また，活動実績報告書の記載内容について評価する。
	C	面接	グローバル化する世界の環境及び社会的な課題に関する設問に対して，解答者独自の見解を論理的にまとめ，それを説明し，審査員と質疑応答する面接を行う。これによって論理的な思考力，表現力，対話によって思考を深める力を評価する。	グローバル化する世界の環境及び社会的な課題に関する設問に対して，解答者独自の見解を論理的にまとめ，それを説明し，審査員と質疑応答する面接を行う。これによって論理的な思考力，表現力，対話によって思考を深める力を評価する。また，活動実績報告書の記載内容について評価する。

（４）調査書の評価項目

・調査書は，大学入学者選抜における学力の３要素の内，「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価するための資料として活用し，評価項目は下記項目のとおりとします。

・なお，調査書の活用については，志願者の高等学校等における日常的な学習や一般的な課外活動等を評価するものであり，高等学校等や受験生に対して特別な活躍や資格を提示すること，新たな取り組みを強いるものではありません。また，各項目の評価は文章の表現や量に左右されるものではありません。

評価項目	調査書における記載該当欄
１.学習の姿勢等	７.指導上参考となる諸事項 （１）学習における特徴等 （２）行動の特徴，特技等
２.課外活動実績	７.指導上参考となる諸事項 （３）部活動，ボランティア活動，留学・海外経験等
３.特別活動実績	６.特別活動の記録
４.受賞歴や資格取得等	７.指導上参考となる諸事項 （４）取得資格，検定等 （５）表彰・顕彰等の記録
５.上記以外の活動実績	５.総合的な学習の時間の内容・評価 ７.指導上参考となる諸事項 （６）その他 ８.備考

注１.情報理工学院又は環境・社会理工学院を志願する場合，上表で示した調査書の評価項目が，別途提出を求めている活動実績報告書と重複しても差し支えありません。

注２.新型コロナウイルスの感染症拡大による緊急事態宣言が発令されたことに伴い，休校による出席日数や特別活動の記録，指導上参考となる諸事項の記載が少ないこと等をもって，志願者が不利益を被ることのないよう考慮します。

Ⅷ．合格者発表

・令和６年２月１３日（火）１７：００頃に「高校生・受験生向けサイト」に掲載します。
また，合格者発表と同時に合格者に対して，合格通知書及び入学手続関係書類を発送します。

・合否に関しての電話・メール等による問い合わせには一切応じません。

Ⅸ．入学手続等

・入学手続は郵送のみで行います。２月１９日（月）必着とし，必要書類を書留・速達により郵送してください。詳細な手続事項は，合格者発表日に郵送する入学手続関係書類を参照してください。

・なお，手続きに際して，以下（１）及び（２）の支払いが発生しますので，準備をお願いします。

（１）入学料（２８２，０００円（予定））

・所定の払込取扱票を用い，金融機関窓口で納付してください。入学手続書類が届かなかった等の理由により期日までに入学料を払い込めなかった場合，メールにてその旨を連絡してください。

（２）授業料（前学期分・後学期分各３１７，７００円（年額６３５，４００円）（予定））

・納付は，前学期分５月末まで，後学期分１１月末までとなっています。納付期限の変更が行われた場合，その都度本学ウェブサイトに掲載します。入学後，口座振替での納付となりますので，本学より郵送する案内に基づき，手続を行ってください。やむを得ず口座振替での納付ができない場合は，払込取扱票による振込も可能です。

・授業料は希望により，前学期分の納付の際に後学期分も合わせた年額を納付することができます。

・在学中に授業料改定が行われた場合，在学生に適用する授業料額については，その都度公示します。

・その他各種保険等（３０，０００円程度）の諸経費が発生する可能性があります。

※入学料・授業料減免を希望する者は，「XIII．２入学料・授業料減免」を参照してください。

Ⅹ．感染症予防

・出身国により予防接種状況が異なる背景や，本学の感染症に対するリスク管理の観点から，入学者選抜試験に合格した入学予定の留学生（日本国内の他大学，高等専門学校及び日本語学校等出身の留学生を含む。）は，入学前の３か月以内に医療機関で医師が作成した健康診断書を，原則入学前までに提出してください。詳細は本学ウェブサイトの下記 URL を参照してください。
〔留学生の感染症対策〕https://www.titech.ac.jp/student-support/students/health/international

Ⅺ．入試情報

１．出願状況等

・本学「高校生・受験生向けサイト」に志願者数を１２月下旬，合格者数等の資料を令和６年４月以降掲載予定です。

２．成績開示

（１）提供内容

・第２段階選抜（総合問題）合計点を提供します。第２段階選抜（総合問題）を１つでも受験しなかった者，第１段階選抜で不合格となった者，必要な共通テスト科目を受験しなかった者の成績提供は行いません。

（２）請求方法

・インターネット出願サイトにおいて出願登録の際に，試験成績開示請求項目の「希望する」を必ず選択してください。
・「希望する」を選択した場合，１回の出願につき成績開示手数料５００円が別途必要となりますので，入学検定料と併せてお支払いください。なお，　郵送及び出願後の請求は原則受け付けません。

（３）提供時期

・令和６年５月中旬～６月末まで，本学「高校生・受験生向けサイト」から「成績開示システム」に自身でアクセスし，閲覧してください。
・詳細なアクセス方法等は令和６年５月中旬，本学「高校生・受験生向けサイト」でお知らせします。
［注１］閲覧には「受験番号」及びインターネット出願登録時に発行される「整理番号」が必要です。
［注２］開示期間が終了すると閲覧できなくなりますので、必要であれば、適宜成績開示画面を印刷等してください。

Ⅻ．個人情報の取扱い

・出願書類に記載の情報は，入試及び学務関連業務のみに使用します。個人情報の取扱いは以下のとおりになります。

１．出願にあたり知り得た個人情報については，①入学者選抜業務，②入学手続業務，③授業料徴収に関する業務を行うために利用することとします。
２．出願にあたり知り得た個人情報及び入学者選抜の試験成績は，入学者のみ，①教務関係(学籍，修学指導等)，②学生支援関係(健康管理，就職支援，授業料免除・奨学金申請等）の業務を行うために利用することとします。
３．入学者選抜の試験成績は，今後の入学者選抜方法等の検討に利用することがあります。
４．上記１～３の各種業務での利用にあたり，一部業務を本学より委託を受けた業者（以下「受託業者」という。）において行うことがあります。委託にあたり，受託業者に対して，委託した業務を遂行するために必要となる限度で，個人情報の全部又は一部を提供することがあります。
５．国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため，氏名，受験番号，共通テストの受験番号，合否及び入学手続に関する個人情報を，大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達します。

Ⅻ. 学生生活

１．高等教育の修学支援新制度

高等学校在学中に日本学生支援機構に予約採用申込手続きを行い，給付奨学金採用候補者に決定した者は，支援区分に応じて入学料及び授業料の全額又は一部が免除され，給付型の奨学金を受給できる場合があります。これを高等教育の修学支援新制度と呼びます。採用候補者に決定した場合でも，大学入学後に所定の手続きを行わなければ支援は得られません。また，日本学生支援機構には授業料等減免を伴わない貸与奨学金の制度もあります。

応募資格等制度の詳細や本学での手続きについては，以下のサイトを確認してください。

〔文部科学省　高等教育の修学支援新制度〕
https://www.mext.go.jp/kyufu/index.htm

〔日本学生支援機構 奨学金〕
https://www.jasso.go.jp/shogakukin/index.html

〔東京工業大学 高等教育の修学支援新制度〕（給付奨学金と授業料減免）
https://www.titech.ac.jp/student-support/students/tuition/new-system

〔東京工業大学 日本学生支援機構奨学金　採用方法と募集時期〕（貸与奨学金）
https://www.titech.ac.jp/student-support/students/tuition/jasso/selection

具体的な手続や締切スケジュール等については，合格した際に交付される関係書類でお知らせしますが，入学手続時から，段階をおって申請することとなります。

２．入学料・授業料減免（授業料等減免）

上記１．のとおり，高等教育の修学支援新制度により，日本学生支援機構の給付奨学生に採用され，かつ，入学料・授業料等の減免申請をした者については，選考のうえ採用されると，入学料・授業料等が減免（軽減又は免除）されます。

なお、高等学校在学中に申請しなかった場合でも大学入学後にも申請期間を設けています。応募資格等制度の詳細や本学での手続きについては，上記１のサイトを確認してください。

３．入学後の住居

本学には，新入生が入居できる学生寮や大学提携寮があります。それぞれの寮は，所在地，築年数，居室形態，月額寮費料などが異なっています。入居希望者は，本学ウェブサイトにより，概要を確認の上，応募してください。なお，受験日程によっては合格発表より前に応募締め切りとなりますので，注意してください。

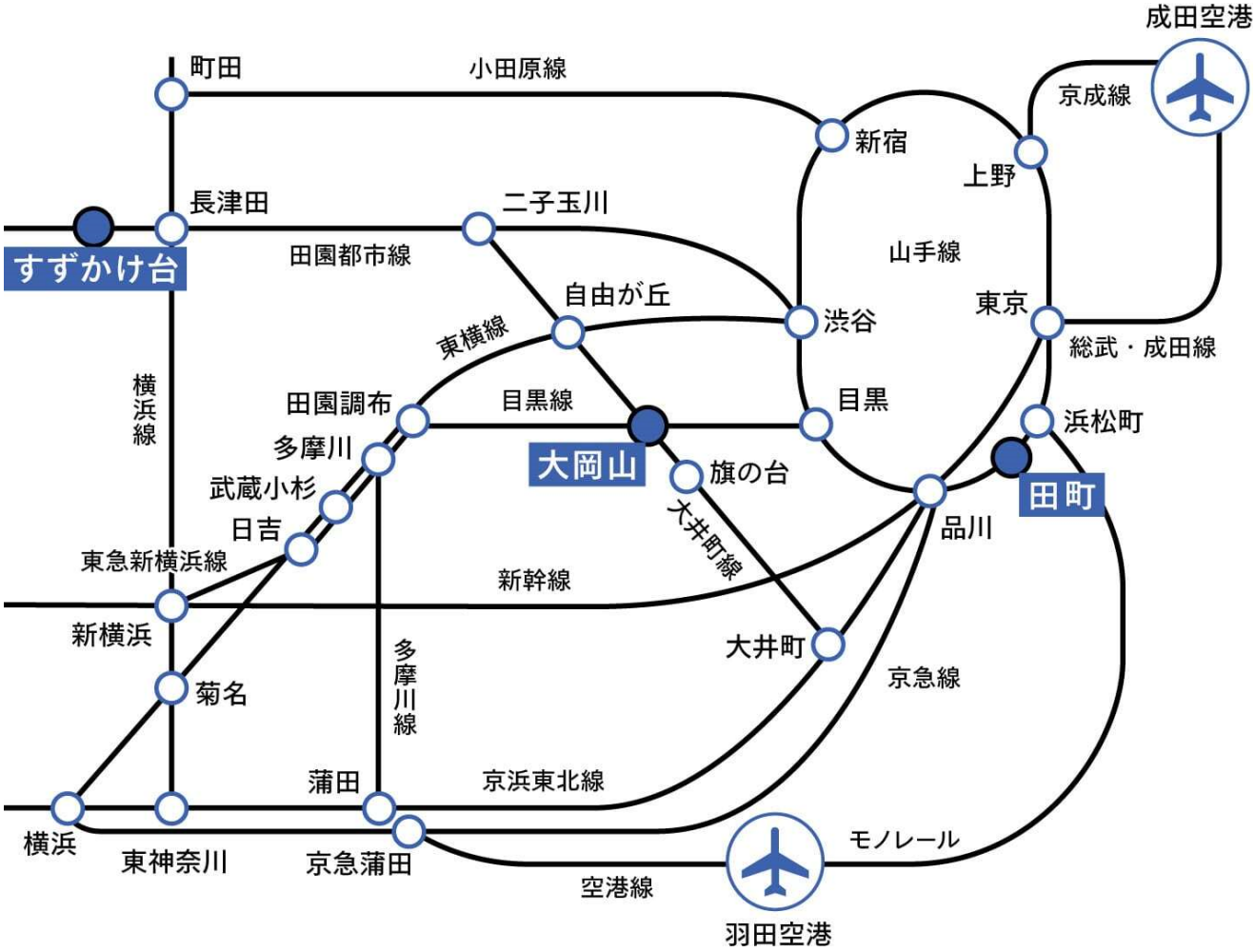
〔学生寮・住まい〕
https://www.titech.ac.jp/student-support/students/dormitories-and-accommodations

※問い合わせは志願者本人が行うこと

東京工業大学　学務部入試課
〒152-8550　東京都目黒区大岡山 2-12-１-W8-103
TEL (03)5734-3990 (平日 9:00～17:15 (12:15～13:15 を除く))
E-mail　nyu.gak@jim.titech.ac.jp

※入試に関する最新情報等

東京工業大学ウェブサイト　https://www.titech.ac.jp/
高校生・受験生向けサイト　https://admissions.titech.ac.jp/

MAP

- 大岡山キャンパス　東急大井町線・目黒線(大岡山駅下車徒歩1分)
- すずかけ台キャンパス　東急田園都市線(すずかけ台駅下車徒歩5分)
- 田町キャンパス　JR山手線・京浜東北線(田町駅下車徒歩2分)